

○本整備の目的

本庄キャンパス中央を貫く学内幹線道路は、歩行者・自転車・自動車が混在して通行しており、決して安全とは言えない状況である。併せて、駐車・駐輪スペース不足等による違反駐車・駐輪も見られキャンパス環境の悪化を招いている。

これらの改善として、**学生が多く集う学内幹線道路（ラクウショウ並木道）周辺を中心に歩車道分離化、周回道路（自転車道）の整備、駐輪・駐車場の増設等**を行い、安全な移動環境を構築するものである。

○現状の問題点

(全般)

- ・学内幹線道路（ラクウショウ並木道）に、歩行者・自転車・自動車が混在し、安全面に問題あり。(写真1)



写真1 ラクウショウ並木道
(歩行者・自転車・自動車が混在)

(自転車)

- ・講義や食事のため、自転車でキャンパス内を移動する学生が多く、特に昼間の大学会館周辺（総合研究1号館前）は違反駐輪で溢れている状況である。(写真2)



写真2 総合研究1号館前
(違反駐輪で溢れている状況)

(自動車)

- ・駐車場の不足等により、駐車スペース以外の場所に駐車する等、違反駐車の原因となっている。(写真3)



写真3 違反駐車状況

○改善方針

- ・学内幹線道路（ラクウショウ並木道）の歩車道分離化
- ・自転車の集団移動に対応した自転車道・駐輪場（増設）の整備
- ・駐車場不足への対応として、駐車場を増設

○整備内容

①自転車道・駐輪場の整備

- ・キャンパスの南北・東西を繋ぐ**新たな自転車道の整備**
- ・キャンパスの南東エリアに**まとまった駐輪場を整備**

②自動車道・駐車場の整備

- ・学内幹線道路（ラクウショウ並木道）の自動車進入禁止に伴い、芸術地域デザイン学部西側の**南北河川沿いに自動車道を整備**し、歩車道分離を推進
- ・**駐車場を増設**し、駐車スペース不足に対応する

③自転車管理システムの導入

- ・違反駐輪への対応



キャンパスの象徴的空間（ラクウショウ並木道）の環境形成
歩車道分離を推進し、安全な移動環境を構築



「ラクウショウ並木道」の歩車道分離化



■整備範囲

- 自動車道
- 自転車道
- 駐車場
- 駐輪場

■整備(運用)内容

①ラクウショウ並木道の歩車道分離化
(美術館前～芸術地域デザイン学部)

- ・歩行者及び自転車専用
- ・自動車侵入禁止
(緊急車両・サービス車両等除く、
身障者駐車場等への通行時の
横断は可)

②キャンパス外周部に自転車道を整備

- ・ラクウショウ並木道周辺及び附属
図書館南側に「自転車道」を整備

○その他

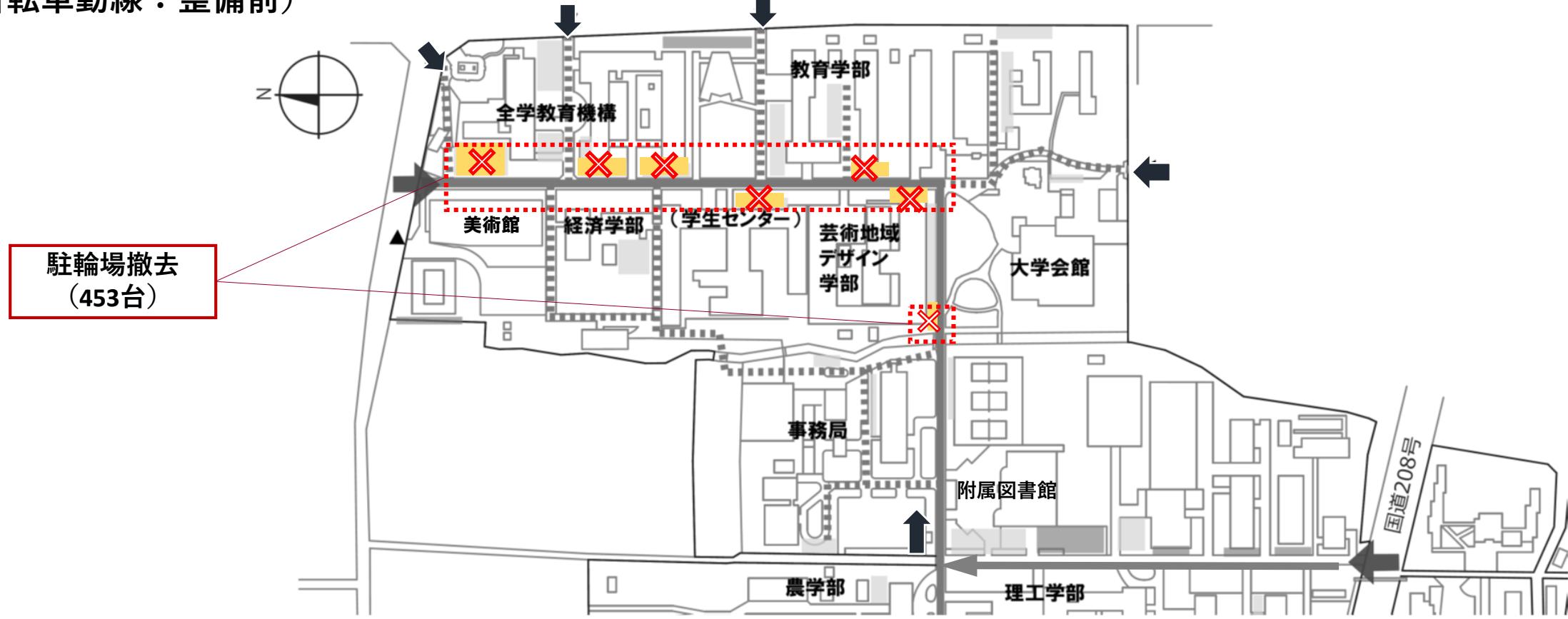
- ・駐車場整備 54台
- ・駐輪場整備 1,080台
- ・自転車管理システムを導入し
自転車の管理及び違反駐輪の
取締りを行う

■整備時期 (予定)

- 工事期間 : 令和3年5月～12月
- 運用開始日 : 令和4年1月

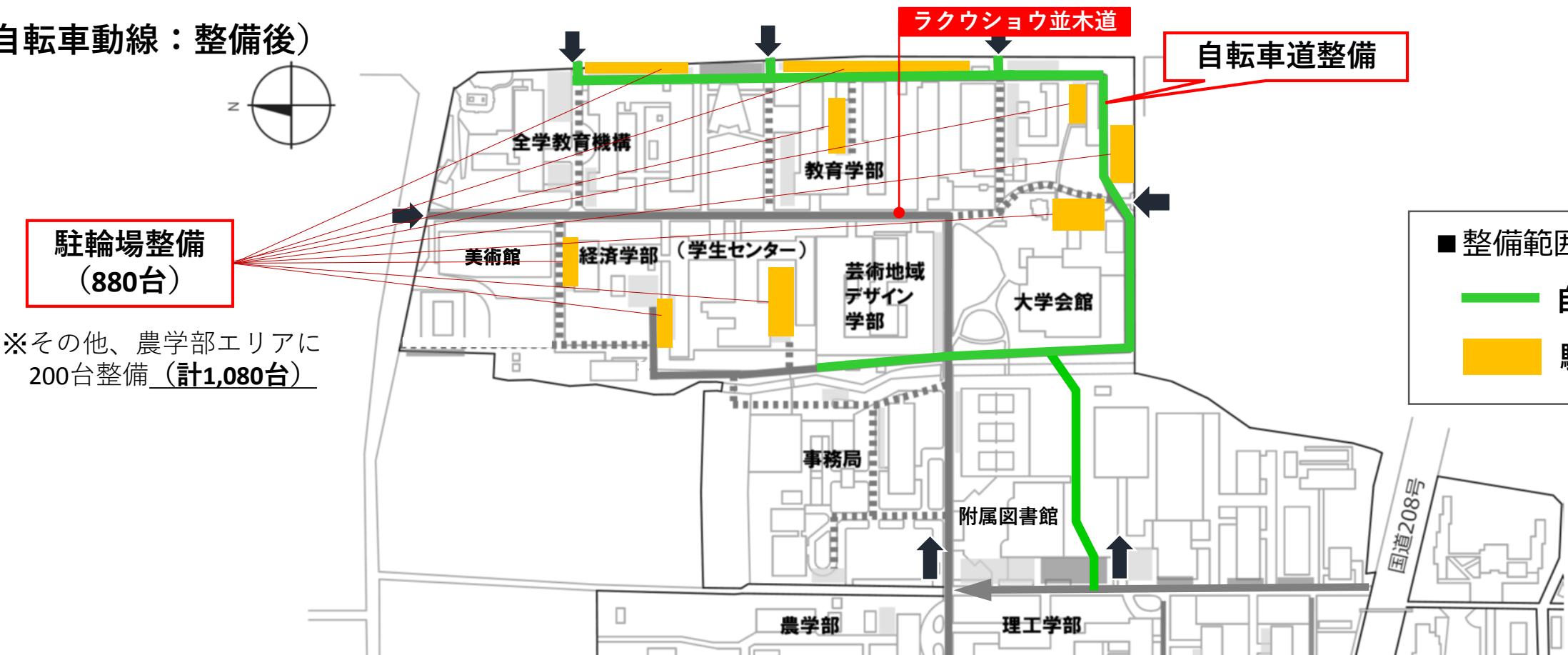
■本庄キャンパス 学内道路整備 整備前との比較 (自転車)

(自転車動線：整備前)



駐輪場撤去
(453台)

(自転車動線：整備後)



駐輪場整備
(880台)

※その他、農学部エリアに
200台整備 (計1,080台)

■ 整備範囲
— 自転車道
■ 駐輪場